

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
長岡市中心市街地地区

平成25年11月

新潟県長岡市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	歩行者通行量	人/日	69,974	70,000	61,553	確定 見込み ●	△	あり ● なし	66,406	H24年10月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	大規模商業施設の撤退の影響があったものの、アオーレ長岡の整備等により一定の成果が見られる。
指標2	中心市街地内居住人口	人	6,745	6,750	6,807	確定 見込み ●	○	あり なし	6,750	H24年4月	△	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市街地再開発事業の推進等により、民間事業者によるマンション供給が誘発され、居住人口の維持に寄与している。
指標3	中心市街地内雇用者数	人	15,262	15,370	14,450	確定 見込み ●	△	あり ● なし	12,989	H25年9月	△	評価値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	目標値から低い水準ではあるが、アオーレ長岡の整備等により、近年の減少傾向に改善が見られる。
指標4						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	東西自由通路部における歩行者通行量	人/日	15,213	/	19,437	確定 見込み ●	/	/	18,242	H24年10月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	JR長岡駅前広場整備事業による利便性の向上やアオーレ長岡整備等により、一定の成果が見られる。
その他の数値指標2	循環バス利用者数	人/日	235	/	374	確定 見込み ●	/	/	375	H23年4月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	各種施設整備やイベントの相乗効果が現れている。
その他の数値指標3	子育て支援施設利用者数	人/年	30,312	/	42,732	確定 見込み ●	/	/	32,712	H23年4月	/	評価値の見込み推計が甘かった。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	子育て支援施設の移転・機能拡充と各種事業の相乗効果により、増加傾向にある(H24年度: 38,832人/年)。
その他の数値指標4	空き店舗・事務所数	箇所	309	/	189	確定 見込み ●	/	/	196	H24年7月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	アオーレ長岡の整備等により、主に飲食店の出店が進み、一定の成果が見られる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために 行う方策 	市民協働のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民交流ネットワークアオーレ」及び「NPO法人市民協働ネットワーク長岡」の立ち上げ及びサポート ・アオーレ長岡を中心とした各種イベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民協働と市民交流」の拠点ができただけで、まちづくり交付金等で整備された施設が、その機能を発揮し、さまざまな集客イベントの開催や市民活動が幅広く展開され、にぎわいが創出されてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備済の公共公益施設を最大限に活用し、市民協働の機会と場をより一層充実させる。 ・多種多様な市民活動を相互につなげる仕組みを充実させ、市民協働のさらなるレベルアップを図る。
	市街地再開発事業等の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・大手通表町西地区市街地再開発事業の実施 ・大手通表町東地区市街地再開発事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・大手通表町西地区市街地再開発事業は現在、権利変換計画認可に向けて再開発組合で調整中 ・大手通表町東地区市街地再開発事業は準備組合が設立され、事業化に向けて検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・両地区市街地再開発事業の円滑な実施を図る。
	交通環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通情報提供事業の実施(バス位置情報等配信システム整備) ・長岡駅周辺整備事業の実施(タクシープールの出入り口の改修、自家用車駐車場の運用徹底、信号現示見直し) 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの利用者が運行ダイヤやバスの運行位置をリアルタイムに知ることができ、路線バスの利便性の向上が図られた。 ・長岡駅大手口駅前ロータリーの部分改修や運用方法の徹底、並びに駅前交差点信号現示見直しにより、駅前の交通混雑の緩和が図られた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地へのアクセス性を今後も高めていくため、公共交通や駐車場の利便性の向上を図っていくほか、歩行者や自転車利用者が安全・快適に通行できる環境を整備していく必要がある。
	防災意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・防災をテーマとした「まちなかカフェ」、「まちなか大学」等の市民向け講座の実施 ・市民が身近な課題に取り組む「まちづくり市民研究所」の開設 ・長岡震災アーカイブセンターで、中越防災研修講座など研修会、災害とこころのケア、防災グッズの「今」と「昔」など企画展の開催 ・中越市民防災大学の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災関連の講座は延べ約590名が受講。市民の防災力の向上や意識啓発等が図られた。 ・アーカイブセンターは4万人を超える利用があった。 ・地域の防災リーダーとなりうる安全士の認定者が335人となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災地として、講座などを継続して開催するとともに、関係機関と連携しアーカイブセンターの活用促進に取り組み、市民の意識啓発、風化防止等を図る。 ・市民防災大学卒業者の積極的な活用と周知方法の更なる充実を図る。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	閉店した大規模商業施設跡地の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・カーネーションプラザ(大規模商業施設跡地)の活用 ・大手通表町東地区市街地再開発事業の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・カーネーションプラザを平成22年8月に開設。合併11地域の特産品を扱う物産展として、また、まちなかを訪れる人の憩いの場として知名度も上がり、来館者は増加傾向にある。 ・カーネーションプラザを含む大手通表町東地区市街地再開発事業は準備組合が設立され、事業化に向けて検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地再開発事業を促進するとともに、中心市街地に必要な機能や強化すべき機能を見極め、まちなか型公共サービスの展開をさらに推進する。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

ながおかしちゆうしんしがいち
長岡市中心市街地地区

にいがた ながおかし
新潟県 長岡市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	新潟県	市町村名	長岡市	地区名	長岡市中心市街地地区	面積	92.5 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標 大目標:平成16年10月の新潟県中越大地震からの復興を図りつつ、郊外分散した都市機能のまちなか回帰の促進と大震災から受けた未曾有の被災経験を活かした防災性と利便性の高い中心市街地の創造 目標1:厚生会館地区の整備、再開発事業の促進による防災性を兼ね備えた都市施設の機能更新と集積、交通アクセス性の向上により、まちに「来る人」の増加 目標2:市街地再開発事業の促進等による都市型住宅整備、居住者にとっての利便性の向上により、まちに「住む人」の増加 目標3:公共施設の集積を起爆剤とした業務機能の集積、空き店舗活用、起業支援施策等により、まちで「働く人」の増加
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 ○長岡市中心市街地地区、特に、JR長岡駅大手口からのびるメインストリートである大手通り沿いには、昭和30年代に大型店4店が出店し、いわゆる長岡市の顔である「まちなか」として隆盛を極めたものの、現在では当時と同じ形態で営業を続けているのは1店のみとなり、かつての賑わいが失われている。 ○同中心市街地における主要調査地点の歩行者通行量は、昭和55年調査では、平日10万5千人、休日14万7千人であったものが、平成15年調査では、平日7万人、休日5万1千人とそれぞれ約3割、約7割減少しており、特に休日の減少幅が大きく、平日を下回る結果となっている。 ○このような現状を踏まえ、長岡市としては、これまで、「長岡市中心市街地活性化基本計画(H11.3)」の策定等、各種調査及び具体的事業の検討を行ってきたものの、低迷する経済情勢のなか、中心市街地活性化につながる事業展開には至っていない。 ○そこで市では、H15年度に「長岡市中心市街地構造改革会議」を設置し、1年間7回にわたり、地元有識者、学識経験者等による会議を開催、今後の具体的な中心市街地活性化戦略について集中的な討議を行った。同会議における提言では、民間活力の導入と公共機能のまちなか回帰を柱とする先導的の実施を起爆剤とした中心市街地活性化方策が提案された。 ○さらに、平成16年10月に長岡広域圏を襲った新潟県中越大地震から受けた未曾有の被災経験から、防災機能を兼ね備えた中心市街地再整備の必要性を痛感した。
--

課題 ○車社会の進展を背景とした人口の郊外流出、千秋が原・古正寺地区など郊外への各種施設の流出、大型店の閉鎖による中心市街地の優位性の低下を背景とし、中心市街地の空洞化の進展と賑わいの欠如が際だっている。 ○中心市街地の優位性の低下により、既存ストック等の機能更新、新規投資が行われず、老朽化が目立ち、中心市街地の魅力がますます低下するという悪循環に陥っている。 ○中心市街地において、市民にとって利便性が高く利用料金の低廉な駐車場が無いことに加え、JR長岡駅から中心市街地へ歩行者が向かう際に、駅前広場を迂回して行かなければならないなど、中心市街地を訪れる際の交通アクセス・動線に大きな問題がある。 ○さらに、平成16年10月に長岡広域圏を襲った新潟県中越大地震から受けた未曾有の被災経験から、防災機能を兼ね備えた中心市街地再整備が求められている。
--

将来ビジョン(中長期) ○上位計画(第二次新長岡発展計画後期基本計画)において「中心市街地の再生」を図るべき地区に該当。 ○「まなび」と「交流」をキーワードに、新潟県中越大地震からの力強い復興と長岡広域市民の「ハレ」の場となる新しい長岡の顔づくりとして、防災機能を兼ね備えた賑わいのある中心市街地(「まちなか」)を整備するとともに、併せて快適で安心して暮らせる居住の場、魅力ある「まちなか」の就業の場を目指す。 ○地方都市において民間投資を誘発するには、公共による下地づくりや支援が不可欠であるため、市街地再開発事業等への「まちなか型公共サービス」導入を起爆剤として、民間投資の誘発を図り、「まちなか回帰(来る人・住む人・働く人の増加)」を促進する。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
歩行者通行量	人/日	中心市街地主要調査地点における平日の歩行者通行量	厚生会館地区の再整備、市街地再開発事業の促進による都市施設の機能更新と集積、交通アクセス性の向上により、まちへ「来る人」の増加を目指す。	69,974	平成15年度	70,000	平成22年度
中心市街地内居住人口	人	対象地域内の居住人口	市街地再開発事業の促進等による都市型住宅整備、居住者にとっての利便性の向上により、まちに「住む人」の増加を目指す。	6,745	平成15年度	6,750	平成22年度
中心市街地内雇用者数	人	対象地域内の雇用者数 (坂之上地区・表町地区を対象)	公共施設の集積を起爆剤とした業務機能の集積、空き店舗活用、起業家支援施策等により、まちで「働く人」の増加を目指す。	15,262	平成13年度	15,370	平成22年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】（まちなかへ「来る人」の増加） 厚生会館地区の再整備、市街地再開発事業の促進による防災機能を備えた都市施設の機能更新と集積、交通アクセス性の向上を図ることにより、まちへ「来る人」の増加を目指す。</p>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市公会堂（仮称）整備事業<厚生会館地区>：高次都市施設（観光交流センター） ・宝田広場整備事業<厚生会館地区>：地域生活基盤施設（広場） ・長岡セントラル広場整備事業<厚生会館地区>：地域生活基盤施設（広場） ・屋根付き広場等整備事業<厚生会館地区>：地域生活基盤施設（広場） ・市道1号線整備事業<厚生会館地区>：道路 ・市道2号線整備事業<厚生会館地区>：道路 ・市道3号線整備事業<厚生会館地区>：道路 ・市道4号線整備事業<厚生会館地区>：道路 ・まちなか賑わい交流センター（仮称）整備事業<大手通中央東地区>：高次都市施設（地域交流センター） ・まちなか子育て施設整備事業<大手通中央西地区>：高次都市施設（子育て世代活動支援センター） ・J R長岡駅大手口地下自転車駐車場整備事業<J R長岡駅前広場地区>：道路 ・J R長岡駅大手口駅前広場再整備事業<J R長岡駅前広場地区>：都市再生交通拠点整備事業 ・大手通中央東地区第一種市街地再開発事業<大手通中央東地区>：市街地再開発事業 <p>【提案事業】（地域創造支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生会館地区再整備設計コンペ事業<厚生会館地区> ・市民活動ホール（仮称）整備事業<厚生会館地区> ・市民活動ホール（仮称）映像発信設備等整備事業<厚生会館地区> ・厚生会館地区市役所事務機能整備事業<厚生会館地区> ・厚生会館地区施設除却・解体事業<厚生会館地区> ・大手通中央東地区市民協働まちづくり実践まちなか型市役所整備事業<大手通中央東地区> ・まちづくり活動事業<中心市街地内> ・中越市民防災安全大学事業<中心市街地内> ・まちなか情報発信事業<中心市街地内> <p>（事業活用調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場活用調査事業<中心市街地内> ・中心市街地交通結節点等有効活用調査事業<中心市街地内> ・まちなかキャンパス（仮称）事業調査事業<大手通中央東地区> ・中心市街地活性化事業活用調査事業<中心市街地内> ・中心市街地再開発事業化検討調査事業<中心市街地内> ・交通円滑化対策事業<中心市街地内> <p>（まちづくり活動推進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果検証分析調査及びまちづくり方策検討調査事業<中心市街地内> ・厚生会館地区活用想定イベント・P R事業<中心市街地内> ・交通対策事業<中心市街地内> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかホール代替活用実験事業<中心市街地内> ・大手通中央西地区第一種市街地再開発事業<大手通中央西地区> ・駐車場案内システム整備事業<中心市街地内>
<p>【整備方針2】（まちなかに「住む人」の増加） 厚生会館地区の再整備、市街地再開発事業に併せ防災機能を備えた都市施設、都市型住宅を整備し、居住者にとっての市民防災安全性と利便性の向上を図ることにより、まちなかに「住む人」の増加を目指す。</p>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市公会堂（仮称）整備事業<厚生会館地区>：高次都市施設（観光交流センター） ・宝田広場整備事業<厚生会館地区>：地域生活基盤施設（広場） ・長岡セントラル広場整備事業<厚生会館地区>：地域生活基盤施設（広場） ・屋根付き広場等整備事業<厚生会館地区>：地域生活基盤施設（広場） ・まちなか賑わい交流センター（仮称）整備事業<大手通中央東地区>：高次都市施設（地域交流センター） ・まちなか子育て施設整備事業<大手通中央西地区>：高次都市施設（子育て世代活動支援センター） ・大手通中央東地区第一種市街地再開発事業<大手通中央東地区>：市街地再開発事業 <p>【提案事業】（地域創造支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動ホール（仮称）整備事業<厚生会館地区> ・市民活動ホール（仮称）映像発信設備等整備事業<厚生会館地区> ・厚生会館地区市役所事務機能整備事業<厚生会館地区> ・大手通中央東地区市民協働まちづくり実践まちなか型市役所整備事業<大手通中央東地区> ・まちづくり活動事業<中心市街地内> ・中越市民防災安全大学事業<中心市街地内> ・中心市街地交通結節点等有効活用調査事業<中心市街地内> ・中心市街地活性化事業活用調査事業<中心市街地内> ・中心市街地再開発事業化検討調査事業<中心市街地内> ・交通円滑化対策事業<中心市街地内> <p>（事業活用調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果検証分析調査及びまちづくり方策検討調査事業<中心市街地内> ・厚生会館地区活用想定イベント・P R事業<中心市街地内> ・まちなかホール代替活用実験事業<中心市街地内> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手通中央西地区第一種市街地再開発事業<大手通中央西地区>
<p>【整備方針3】（まちなかで「働く人」の増加） 市役所機能の一部移転（「まちなか型公共サービス」の導入）等による公共施設の集積を起爆剤とした業務機能の集積、空き店舗活用、起業家支援施策を実施することにより、まちなかで「働く人」の増加を目指す。</p>	<p>【提案事業】（地域創造支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J R長岡駅大手口地下自転車駐車場整備事業<J R長岡駅前広場地区>：道路 ・厚生会館地区市役所事務機能整備事業<厚生会館地区> ・大手通中央東地区市民協働まちづくり実践まちなか型市役所整備事業<大手通中央東地区> <p>（事業活用調査）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動事業<中心市街地内> ・駐車場活用調査事業<中心市街地内> ・中心市街地活性化事業活用調査事業<中心市街地内> ・中心市街地再開発事業化検討調査事業<中心市街地内> ・事業効果検証分析調査及びまちづくり方策検討調査事業<中心市街地内> <p>（まちづくり活動推進事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通対策事業<中心市街地内> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手通中央西地区第一種市街地再開発事業<大手通中央西地区>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業終了後の継続的なまちづくり活動 <ul style="list-style-type: none"> ・本計画期間終了後においても、「長岡市中心市街地活性化協議会」を中心に商店街をはじめとする関係者と市が連携しながら継続的なまちづくり活動を推進し、当該中心市街地の活性化を図るものとする。 ○交付期間中の計画の管理について <ul style="list-style-type: none"> ・計画の進捗管理については、市広報紙等を通じて、随時、進捗状況について情報公開を行うとともに、有識者会議を開催し、市民、学識経験者等の意向に沿った計画管理を行う。 	

